

平成26年度協議会の活動が始まりました！

平成26年6月22日(日)に、平成26年度 第1回まちづくり協議会を開催しました。

当日は20名の会員に出席いただき、今年度の協議事項及び予定について協議を行いました。

その後、3月に開催した協議会の結果を受けて修正した、駅前広場デザイン案について協議を行いました。



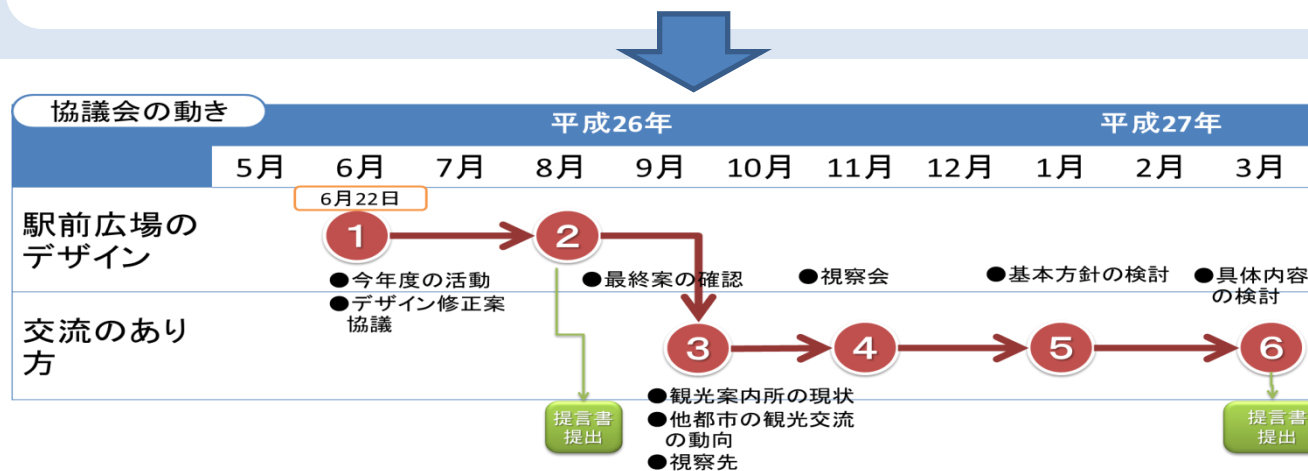
平成26年度の活動予定

平成26年度は、**ホッとさんむ**を実現するために、昨年度から継続協議をしている駅前広場のデザイン案を確定させるとともに、駅前広場整備をきっかけとした交流のあり方を議論する予定です。

まちづくりテーマの実現に向けた
“駅前の交流のあり方”

駅前広場のデザイン案の確定
(第1回、第2回)

駅前広場整備をきっかけとした
交流のあり方(第3回～第6回)



駅前広場のデザイン 修正案について

前回のまちづくり協議会では、千葉大学の学生の皆さんが作成した模型デザインを実現するための修正検討状況について、事務局が中間報告を行い、協議会で話し合いを行いました。

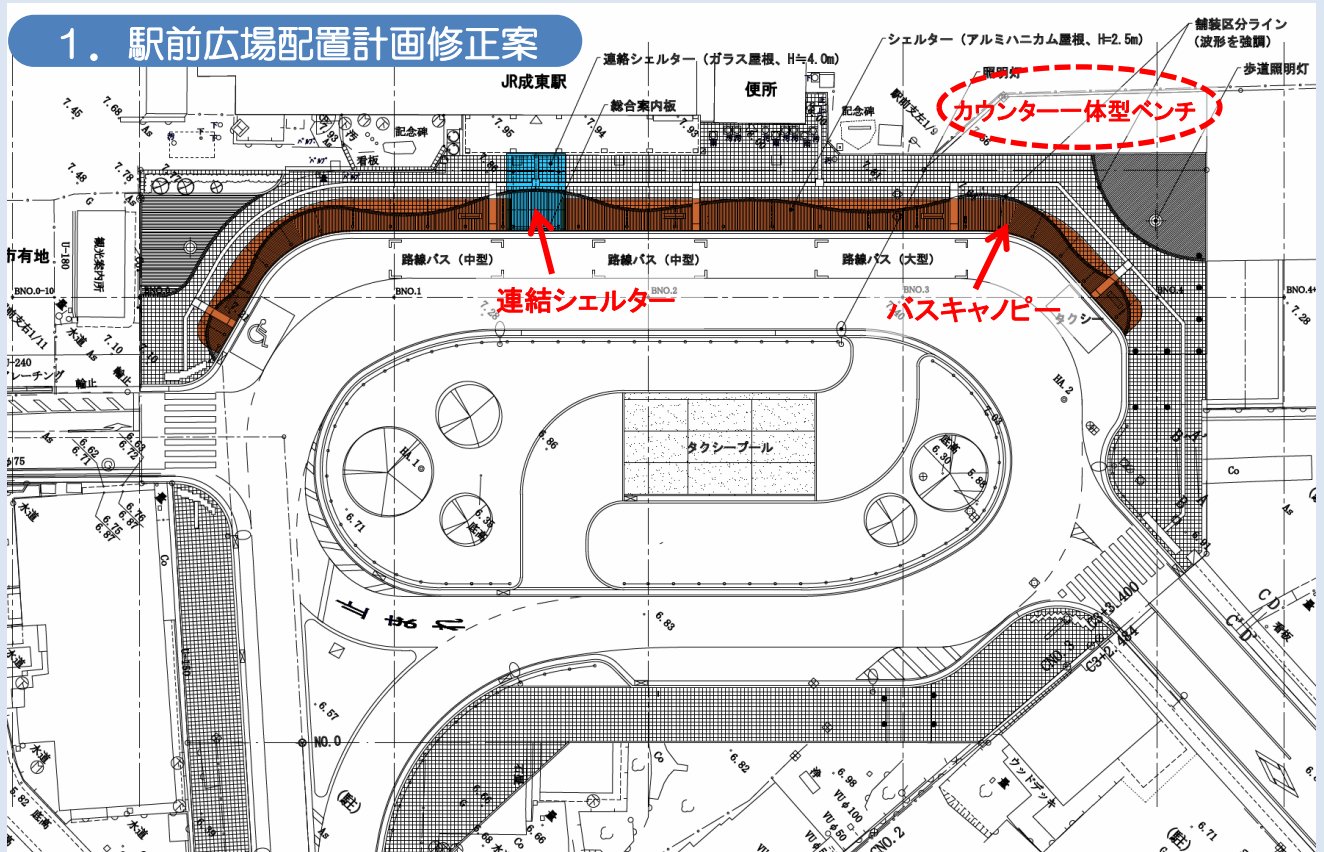
今回は、協議会で寄せられたご意見を基に、中谷先生、デザインJPで協力戴いた千葉大学の学生の皆さん、駅前広場の設計を行っているJICA外会社と事務局の4者が話し合って作成した、実現性を考慮した広場デザイン修正案について、協議会で議論を行いました。

千葉大学の学生の皆さんが作成した模型デザイン
(南側から駅舎方向を撮影)



今回の協議会では特に、駅前広場配置計画修正案、バスキャノピー、カウンター、舗装材について話し合いました。

1. 駅前広場配置計画修正案



駅前広場のデザイン基本方針(H25.12協議)

- 緩やかな曲線を用いたデザインとする。
- 山武杉等の地域資源を活用する。(広場内の調和を図るため、部分使用も可とする)
- 組子細工や砂浜などデザインのアクセントとして活用する。
- 樹木や地被類など緑を取り入れた配置とする。
- 高さなどの面で目障りにならないデザインとする

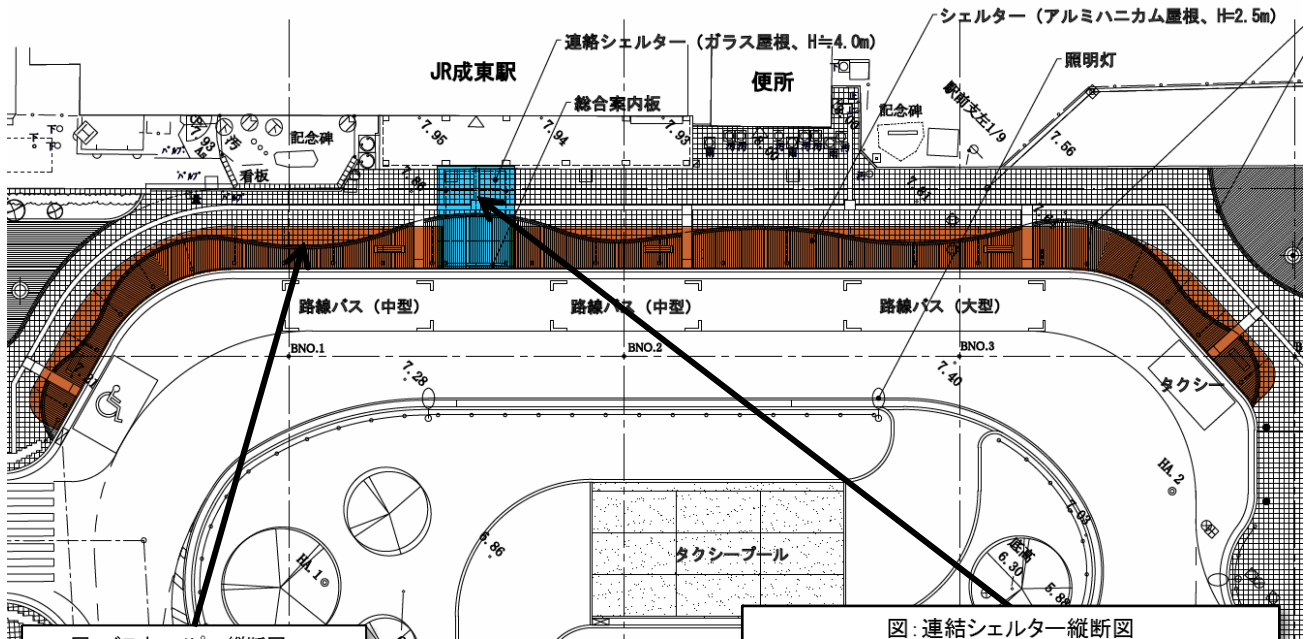
修正案作成の考え方

- 歩行者動線と安全性を確保した上で、「駅前広場のデザイン基本方針」実現のため、デザインと機能性の両立を目指しました。

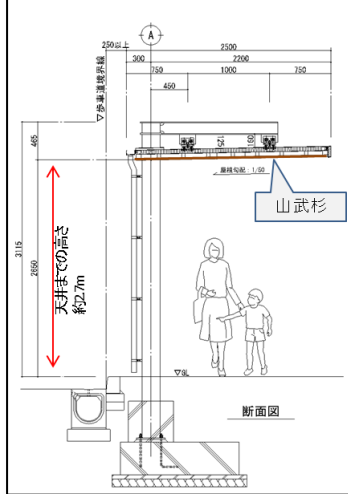
ポイント

- 利用者の利便性を配慮して駅舎から身障者バース、バースバース、タクシーバースまでを屋根でつながしました。
- 圧迫感を感じにくい街並みづくりのため、バスキャノピーを駅舎側のみに設置しました。
- カウンター一体型ベンチは道路用地外に配置しました。

2. バスキャノピー

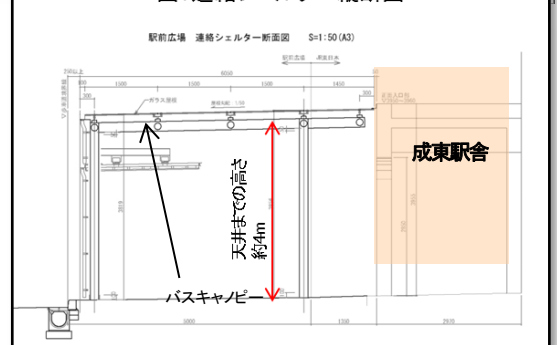


図：バスキャノピー縦断面図



木を使ったバスキャノピー
の例(宮崎県日向市駅)

図：連絡シェルター縦断面図



例：連絡シェルターのイメージ
(空の広がりを感じる例)



その他のポイント、協議会意見への対応結果

●安全面の配慮について

- ・歩行者動線の確保と、安全性確保の観点から、デザインコンペで提案がなされた**バスキャノピーとカウンター・ベンチの一体整備は見送り**、**舗装材の模様で一体性を演出**することにしたいと思います。

●利用者への配慮について

- ・協議会で提案があった**風よけについては、設置位置や素材等を再度検討**することとします。
- ・駅を出て濡れずに身障者用乗降場・タクシー乗降場を利用できるよう、**バスキャノピーと駅舎をつなぐ「連絡シェルター」を設置**したいと思います。

●素材について

- ・**素材の良さ**を活かしたいと考えます。
- ・バスキャノピーの**天井材に山武杉の板**を使用したいと考えます。
- ・支柱は**金属製**のものを使用し、**山武杉の天井が強調されるデザイン演出**を考えます。

車止め、ガードパイプの基準について

- ・横断防止のため設置するガードパイプは、安全性を確保するため、**歩行者が寄りかかったり腰掛けても変形・破損しない強度**が求められます。
- ・木製のものも市販されていますが、強度を確保するため、太くなりがちです。
- ・照明と同様に、**周辺の風景を遮らないよう、透過性が高く、色彩面で調和したシンプルなもの**を採用したいと考えます。



木製の車止め

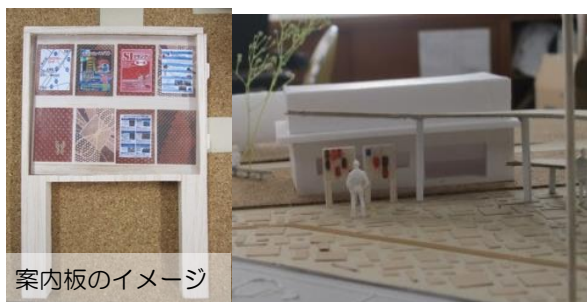
バスシェルターの柱と色を合わせたガードパイプの例（押上駅）



5. 案内板

観光案内所前に案内板を設置

- ・**観光案内所と一体的に設置**することとします。
- ・なお、観光案内所の位置は市側で現在調整中です。



案内板のイメージ

駅前広場には総合案内板等を設置

- ・駅前広場内には木製化粧支柱を使用した総合案内板、バスの時刻表示板等の設置を検討します。



総合案内板、バスの時刻表示板のイメージ



6. ベンチ

市民参加による維持管理の仕組みを市側で継続検討

- ・広場整備までの間に、市民の協力による設置・維持管理・定期的な更新ができるよう、市民オーナー制度の創設を継続検討します。
- ・森林組合や関係機関の協力を呼びかけます。

8. 交通島

周辺の街並みやシンボルツリーが映えるよう配慮

- ・駅を出て広がる街並み空間を演出するため、シンボルツリーの他は、花と緑をしつらえ、若干の低木を配置したシンプルな交通島とします。

7. 樹木

既存の樹木を含めてトータル的な樹種選定

- ・以前に総武本線100周年を記念して設置した**ヤマモモの木は今後もシンボルツリーとして設置**します。（現在は別の場所に一時的に移植しています。）
- ・その他に駅前広場全体のバランスを考えて、今後数本の樹種選定を進めます。



ヤマモモの木



1. 平成26年度の活動予定について

以下の議論を行った結果、今年度の検討項目とスケジュールについて承認を戴きました。

- ・ 人事異動で事務局の体制が変わったが、協議会運営に影響はないか。 → ・ 会則に基づいて協議会事務局の運営を行っていくため、影響はありません。（事務局）
- ・ 交流のあり方として観光案内所をどうしていくのかを検討する中で、駅前のトイレの再整備を考えることができないか。 → ・ 駅前のトイレは市が所有していますが、広場整備から切り離し、今回は考慮しないこととします。（事務局）
- ・ 駅の改札を得てから眺めについて、駐車場しかないというのは問題だと思うので、協議会の中で提言してはどうか。 → ・ 権利者の方々に参画戴き、一緒に駅周辺の環境についてご議論いただきたいですが、協議会では、（皆様の土地の使われ方を）こうあるべきと縛る提言をするのは難しいと考えています。（中谷座長）
- ・ 駅周辺の排水について協議会で議論を行う事はできるのか。 → ・ 土木の専門的な内容となるため、個別にお話をお伺いいたします（事務局）

2. 駅前広場のデザイン 修正案について

以下の議論を行った結果、風よけなどの課題が若干残りましたが、概ね承認を戴きました。

- ・ 一般車両の一時停車スペースの確保が警察との協議の中で難しいとのことなので、駅前広場の周辺での確保などを市側で検討してほしい。 → ・ 今後、広場とは別に検討します。（事務局）
- ・ カウンターについて、空き缶などを放置される可能性があるので、維持管理できるかを考えて設置を検討した方が良い。 → ・ 維持管理の方法について、個別に検討を進めたいと考えています。（事務局）
- ・ 風よけについて、キャノピーの高さとの関係で、風が吹くときは濡れることが考えられる。このため、障害者用・タクシー乗降場付近だけでも設置できないか材質を含めて再度検討してほしい。 → ・ 内部で検討します。（事務局）
- ・ 防犯対策のために交番設置ができないか、警察に話をしてほしい。 → ・ 警察に確認します。（事務局）
- ・ 防犯対策のために防犯カメラを設置した方が良い。また、間接照明の点灯時間を考えておいた方が良い。 → ・ 今後、内部で検討します（事務局）



次回(8月開催予定)は、駅前広場のデザイン 最終案を確認し、提言内容のとりまとめを行います。

皆様のご意見をお寄せください

成東駅南側のまちづくりについて、皆様のご意見を事務局へお寄せください。

なお、いただいたご意見は、協議会で報告するほか、この協議会ニュースでご紹介させていただく場合がありますので、ご了承ください。

【ご意見送付先】

山武市都市整備課
成東駅南側周辺まちづくり協議会事務局
〒289-1392 山武市殿台296

ファクス: 0475-82-2107

電子メール: toshiseibi@city.sammu.lg.jp

※ファクス、電子メールは共用ですので、宛先をご記入ください。